

(iii) 脳卒中の医療と医療機能

本圏域で脳卒中の急性期医療を行っている病院のうち、特定集中治療室（ICU）を設置している病院は4か所（28床）あり、ハイケアユニット（HCU）及び脳卒中ケアユニット（SCU）を設置している病院はなかった（表5-2-2）。

本圏域では、脳卒中に関する高度専門的な医療が提供できる病院は8か所である。内容別の実績では、組織プラスミノゲンアクチベータ（t-PA）による治療は6か所、血腫除去術は6か所、脳動脈瘤根治術は6か所、脳血管内手術は4か所である。

症状が安定するとできるだけ早期に、専門リハビリテーション施設で理学療法士等による回復期のリハビリテーション治療を集中的に実施する必要があるが、本圏域では、回復期リハビリテーション病棟は、4か所に180床（人口10万人あたり約28床）整備されており、そのうち2か所では休日もリハビリテーションを行っている。

大阪府が平成23年11月に行ったアンケート調査では、本圏域の病院39か所のうち3か所が「脳卒中に関する医療機能の拡充を考えている」と回答があった。

表5-2-2 病院別脳卒中診療実績

所在地	病院名	病床数			急性期医療				回復期 リハビリ テーショ ン病床数
		ICU	HCU	SCU	頭蓋内 血腫除 去術	脳動脈 瘤根治 術	脳血管 内手術	t-PA 実施数	
本圏域		28(28)	0	0	213	104	104	47	180
松原市	明治橋病院	0	0	0	42	8	0	2	なし
羽曳野市	城山病院	8(8)	0	0	55	0	59	15	51
藤井寺市	田辺脳神経外科病院	6(6)	0	0	29	33	6	6	なし
	青山病院	0	0	0	/	/	/	/	33
河内長野市	大阪南医療センター	4(4)	0	0	28	31	8	17	なし
大阪狭山市	近畿大学医学部附属病院	10(10)	0	0	41	13	31	3	なし
	樫本病院	0	0	0	/	/	/	/	36☆
	大阪南脳神経外科病院 ※	0	0	0	18	19	0	4	60☆

病床数の数字は診療報酬上施設基準を満たす病床数。()内数字はその機能のある病床数。

☆休日リハビリあり

※平成24年4月からさくら会病院に病院名を変更

大阪府医療機関機能調査(平成22年度実績、病床数は平成23年11月1日現在)

(iv) 地域連携クリティカルパス

平成20年9月に開催された南河内保健医療協議会において、医療部会に「南河内圏域脳卒中地域連携クリティカルパス小委員会」を設置して検討していくことになり、平成21年3月よりパスの導入に向けた取り組みを進めている。

(ア) 圏域の医療機能の特色、普及の現況

本圏域では、パス運用件数は年々大幅に増加している（表5-2-3）。しかし、急性期から回復期へのパスは普及しつつあるが、維持期にまでパスは普及していない。維持期へのパスが普及していない要因として、まず、脳卒中患者に占めるパス運用患者の割合がまだまだ少ない中で、維持期の医療機関